



美瑛町立美瑛中学校  
学校だより  
令和4年9月号

## 言葉にならない感動…文化祭終了

校長 金山 達也

朝、少し寒さを感じて、目が覚める日が多くなってきました。秋が深まりつつあります。

2学期がスタートして、1ヶ月が過ぎました。近隣では多くの中学校が文化祭に向けた取組が行われていました。本校でも、第47回目となる文化祭を、去る9月10日に無事実施することができました。

一昨年はコロナ禍により、体育祭との合同開催となりました。私も少しだけ参観させていただきました。コロナによる2ヶ月もの休校のため、多くの学校が文化祭の中止や縮小という判断をする中で、美瑛中学校は生徒および保護者、そして教職員の協力により、これまでの文化祭の内容を感染症対策というフィルターを通して見直し、体育祭との見事な融合により、新たな文化祭の形を作りました。昨年は、単独の行事として文化祭が見直され、コロナ禍でもこれだけのことができることを証明しました。そして、今年はいよいよ「コロナ禍以前の文化祭の復活」を模索し、生徒会役員が中心となって、取組を進めました。①美瑛中らしい文化祭②コロナ禍でもできる文化祭③思い出つくりの文化祭④感染症対策を徹底する文化祭…という基本路線に基づき、午前中からの開催、ブース活動(様々な体験コーナー)、花火に代わるジェット風船などが復活または新しい試みとして企画されました。特にブース活動は、感染症対策と体験活動との板ばさみ状態、更に、生徒はだれも経験したことがないという状況でした。(教職員も知っているのは、半数くらいでした)リーダーとなった3年生のみなさんは特に苦労が絶えなかったことでしょう。しかし、そんな状況でも一致協力して活動を進める姿を見ることができました。担当の先生がいなくても、3年生が話し合いを進め、1・2年生もアイデアを出し合う姿、絵を描いたり、看板を作ったり、風船を膨らましたり…準備段階からみなさんの熱意を感じました。

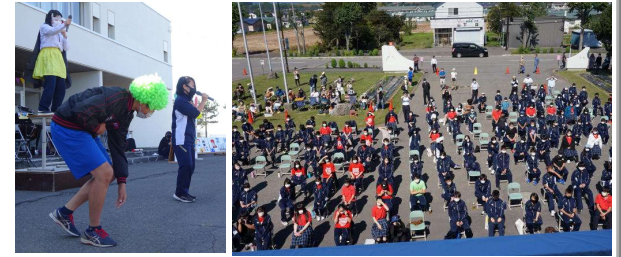
その思いが通じたのか当日は雲一つない晴天でした。これまでの練習の成果を思う存分発揮していたように思います。先生方も一緒になって(多少大人げない?場面もありましたが…)盛り上げていました。とにかくみなさん一人ひとりが輝いていました。虹プロ(各学級の合唱と紹介)では、それぞれの学級の色が鮮明に浮き出ていました。(合唱の録音を終えた後に起こる拍手は校長室まで届いていましたよ)

閉会式を迎えた時の感想は、表題の通り「言葉にならない感動」でした。この3ヶ月、本当にお疲れ様でした。あらたな美瑛中文化祭の可能性とみなさんの成長をしっかりと感じる事ができました。

保護者の皆様へ、文化祭が無事に終了できましたのも、各ご家庭での感染症対策をはじめとする配慮があるからこそと感じています。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

## 文化祭特集

9月10日(土)に「Let's Go!～全校生徒で創る未来へ～」をスローガンに、文化祭を開催しました。ここ2年間はコロナ禍により、午後から夕方にかけての開催でしたが、今年は3年ぶりに朝から開催し、コロナ禍前まで実施していた「ブース」も復活となりました。



当日は、午前中に「吹奏楽発表」「ステージ発表」「イベント」を玄関前ステージで行いました。天候にも恵まれ、多くの保護者の皆様にもご観覧いただきました。

午後は、「ブース」「フォトスポット」「映像発表」「虹色ムービープロジェクト」を体育館等で行いました。収容人数の関係で生徒のみの参加でしたが、最後は全校生徒でジェット風船を体育館に飛ばし、文化祭の幕を閉じました。

一日を通して、生徒たちの楽しそうな表情、真剣な表情、満足した表情が見られ、大変充実した文化祭となりました。



## 2年生宿泊研修

2学期始業式の次の日から、2年生は赤平、砂川方面に宿泊研修に行きました。キャリア教育の一環で、「炭鉄港」見学やロケット制作等を行いました。初めて見たり、体験したりすることが多く、充実した2日間を過ごすことができました。

